



令和5年8月24日
No.107

社協だより



災害時のボランティア講座を 開催しました



7月4日(火)、大田市民センターにおいて、災害時のボランティア活動は「作業」ではなく「被災者とボランティアの気持ちを大切に活動」ということを知っていただくために【災害時のボランティア講座】を開催いたしました。

講師の森本智喜氏(日野ボランティア・ネットワーク)より「ボランティアは作業などをする人ではなく“遠い親戚のような存在”から理解してみると、被災者にとっては復興や自立支援に不可欠な“気力”を支え増進させる“存在”ではないでしょうか」「ボランティアとは、わたしたちが教えられ教えてきた【泣いている人や困っている人がいたら、その時思いついたことをする】ということなのではないか」といったお話しをしていただきました。

参加者より、「相手の立場になつということが大切だと思いました。」「年齢関係なくお手伝いできることがあるものだと感じました。」などの感想をいただきました。

最後に、大田市社会福祉協議会より災害の大きさに関わらず、協力を投げかけられる仕組みづくり、より早く・よりスムーズに困り事や不安の解消に繋げられるための平時のネットワーク・つながりづくりとしての「大田市災害ボランティアバンク」を紹介させていただきました。

ご登録ください! 大田市 災害ボランティアバンク

いつ発生するか分からないのが災害です。いざという時に支え合えるように、このバンクを設置しました。
メールなどで情報をお送りします

平常時 関連する研修情報 防災訓練等のご案内 他市町村の情報など	災害発生時 災害ボランティアの募集
--	-----------------------------

【対象者】大田市災害ボランティアバンクの目的に賛同する方
【想定される活動】
 泥だし、がれき撤去などの活動、資格・技術を活かした活動
 災害ボランティアセンターの運営サポート
 ボランティア活動者支援(炊き出しなど)
 その他、状況によって必要な活動
 【登録方法】
 下記連絡先へご連絡いただくか、登録フォームからご登録ください

大田市ボランティアセンター(大田市社会福祉協議会)
 〒694-0064 大田市大田町大田イ128 大田市民センター2F
 電話:0854-82-0091 FAX:0854-82-9960 MAIL:ohdava@gmail.com



災害ボランティアバンクは、随時募集しております。
 詳細につきましては、QRコードを読み込んでいただくか大田市社協にお問い合わせください。



大田市社協HP QRコード



大田市社協 Fb QRコード

令和
4年

事業報告

【事業の概要と総括】

新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株の出現などにより、感染拡大の波が繰り返される中で、ウイズコロナ時代における新しい生活様式が定着してきました。また、ウクライナ情勢の影響などによる物価高騰という新たな生活課題も生じています。

このような中であって、コロナ禍や物価高騰などで生じた「生きづらさ」を抱えた人々の地域での孤立化が新たな社会問題として認識されています。

本会では、「第3次大田市地域福祉計画・大田市地域福祉活動計画」に基づいた地域共生社会の実現に向けた包括的な総合相談体制の構築など重層的支援体制の整備に取り組ましました。

地域福祉支え合い推進事業では、生活課題の解決へ向け、分野を超えた支援関係機関のつながりづくりを旨とした多機関協働事業や制度の狭間の問題に対応するための新たな居場所づくりの創出などの参加支援事業を実施しました。さらにコミュニティソーシャルワーカーを配置し、様々な「生きづらさ」を抱える人々と関わり続けるアウトリーチ等を通じた継続的支援事業に取り組み、個別支援と地域をむすび、地域住民同士が助けられたり助けたりできるような地域づくりを推進しました。生活サポートセンターおおだでは、

生活困窮世帯の相談を受けながら、家計改善支援事業、就労準備支援事業、一時生活支援事業などによる支援計画を立てる支援調整会議を月1回開催し、支援計画に基づいた伴走型支援を行いました。また生活福祉資金の特例貸付によりコロナ禍で収入減少となった世帯への支援に引き続き取り組みました。

権利擁護の推進では、日常生活自立支援事業や法人後見事業により、日常生活に不安を抱える人々、判断能力の不十分な人々の支援を行いました。大田市成年後見支援センター事業では、市民後見人の活動サポート、後見制度出前講座の開催などに取り組みました。

生活支援体制整備事業、地域介護予防活動支援事業では、22地区において高齢者の通いの場づくりに取り組まれていたほか、地区社協をはじめめとしたサロンなど、住み慣れた地域の中で住民主体の支えあいや介護予防の取り組みが行われました。

以上、令和4年度事業計画のもと、地区社会福祉協議会・自治会をはじめ民生児童委員協議会、各関係機関・団体のご協力をいただきましたが各種事業を実施いたしました。

【法人経営の状況】

- ◆ 理事会 3回
- ◆ 評議員会 3回
- ◆ 監査 1回
- ◆ 評議員選任・解任委員会 2回
- ◆ 苦情解決のための第三者委員への苦情、相談 0件
- ◆ 大田老人福祉センター
- ◆ 利用団体総数 818団体
- ◆ 利用者総数 13,253名

【実施事業】

基本方針1

人づくり・地域づくりの推進

(1) 交流と参加による福祉教育・学習の推進

◆ 福祉教育推進事業

〈小学校〉

・ 実施校数 6校 (実施回数13回)

・ 対象者数 389名

〈中学校〉

・ 実施校数 2校 (実施回数4回)

・ 対象者数 229名

〈高校〉

・ 実施校数 1校 (実施回数2回)

・ 対象者数 86名

◆ ライフステージに応じた福祉教育の推進

・ あいサポート研修の実施・受講者数 212名

◆ レクリエーション用具等貸出事業

・ 軽スポーツ・レクリエーション用具貸出し/322件

・ 機材等の貸出し/76件

・ 体力測定用具の貸出し/20件

(2) 支えあい意識の啓発とボランティアの育成・参加促進

◆ ボランティア・市民活動センターの運営

・ 食育活動ボランティア依頼/18件 (活動日数26日)

◆ ボランティア保険

・ ボランティア活動保険

・ 加入者数 1,551名

◆ 事故対応 1件

◆ 送迎保険 加入件数 25件

◆ ボランティア行事用保険

・ 加入件数 185件

◆ 福祉サービス総合補償

・ 加入件数 29件

◆ 事故対応 2件

・ 使用済み切手の収集/31件

・ プルタブの収集/29件

◆ ボランティア交流事業

「縁カフェ」参加者14名

◆ 地域福祉活動サポーター養成事業

・ 移動介助ボランティア養成講座受講者12名

◆ 民間助成事業

・ 地域共生社会創造助成金 1件

・ 山陰中央新報社会福祉事業団

「愛のともしび募金」2団体

(3) まちづくりセンターを拠点とした地区社協などの地域組織活動の充実

◆ 地区社協連絡会及び情報交換会

2回

◆ 地区社協活動支援事業

27地区

◆ 生活支援体制整備事業

・ 市内各地区協議会への支援と連携

〈訪問地区数〉 26地区

〈訪問回数〉 605回

・ 生活支援コーディネーター情報交換会 毎月1回開催

参加者 延べ363名

・ 集いの場づくりプログラム研修

・ 生活支援コーディネーター研修

・ 事業スタッフ研修会 2回

参加者 134名

〈協議体の設置状況〉 22地区

(令和5年3月31日現在)

◆ 生活支援に関する地域活動助成

3地区 (馬路、湯里、富山)

◆ 福祉バス運行事業

〈登録団体数〉 27団体

〈運行回数〉 28回

(4) 地域の居場所づくり

◆ 地域介護予防活動支援事業

・ 介護予防活動実施団体 122団体

・ サロンフェスティバル

参加者 延べ67名

◆ 地域介護予防活動支援事業会食サ

ロン交流会 参加者 13名

- ・活動団体への指導員等訪問・活動支援状況 976件
- ◇地域ささえあい活動応援助成
 - ・申請団体 3団体
- ◇参加支援事業
 - ①相談の受付 22件(マッチング・コーディネーター実績 17件)
 - ②地域における参加支援促進に向けた働きかけ(会議等への参加) 509回
 - 〔活動場面への参加〕241回
 - ③支援関係者間の認識共有に向けた働きかけ会議 2回
 - 参加者44名
 - ④支援実践場面における状況把握実施件数 11件
 - ⑤趣味づくり講座 3回
 - ◇食を起点としたつながりづくり事業「こねくと食堂」
 - ・6回
 - ・延べ参加者 292人
 - ◇青少年の居場所 ゆきみーる運営等検討会への参画
 - ◇地域づくりを進める人材の育成
 - ・福祉委員活動推進事業
 - ・申請地区 19地区
 - (延べ参加者…415名)
 - ◇地域福祉研修会 参加者 43名
 - ◇講師等派遣事業
 - ・23回(ユニバーサルスポーツ)
 - ◇民間企業・団体や社会福祉法人との協働と地域貢献の促進
 - ◇社会福祉法人地域公益活動推進事業「大田市社会福祉法人連絡会」役員会及び総会
 - ◇寄附文化の醸成
 - ・地域福祉活動を支える寄附の受付
 - ・香典返し 306件
 - ・善意寄付 33件

- ◇赤い羽根共同募金運動の推進 6,191,720円助成
- ◇要配慮者支援へ向けた地域での体制づくり
 - ・高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携
 - ◇緊急対応件数 1件
 - ◇人権施策の推進
 - ◇人権に配慮した相談体制づくり
 - ◇大田市人権尊重のまちづくり審議会への参画
 - ◇大田圏域女性に対する暴力対策関係機関連絡会への参画
 - ◇多文化共生社会の実現
 - ◇相談支援体制づくり
 - ・在住外国人共生市民の会や外国人地域サポーターと連携し相談対応を行った。
 - ・やさしい日本語講座参加者 38名
 - ◇第2次大田市多文化共生推進計画策定委員会への参画(2回)
 - ◇多文化共生計画WG会議への参画・7回
 - ◇在住外国人共生市民の会との連携
 - ・定例会への参加 6回
 - ・多文化交流の場づくり
 - ・参加者10名(在住外国人4名)
 - ・多言語での情報の発信
 - ・多言語版のチラシ作成

基本方針2 包括的な支援体制の構築

- ◇分野を超えた相談支援体制の構築
 - ◇相談支援体制づくり
 - ・ふくしよろず相談(総合的な相談窓口)新規相談受付件数 204件
 - ・司法書士相談 11回 32件
 - ・法律相談 23回 29件
 - ・関西大学法科大学院出張法律相談…7件

- ・法テラス島根地方協議会及び大田市連絡会議への参画
- ・在住外国人への相談対応
- ◇重層的な支援体制の整備
 - ◇多機関協働事業
 - ・大田市地域福祉推進支援機関実務者会議
 - ①個別会議 14回/11事例
 - ②全体会議 11回
 - ・支援関係機関等へのヒアリング 11件
 - ・支援関係者向け研修会
 - 参加者 37名
 - ◇アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
 - ・相談対象者とのつながりづくり
 - ・同行支援 128件
 - ・訪問 93件
 - ・各単位民生児童委員協議会定例会への出席 延べ89回
 - ・相談対応(相談受付数) 20件
 - (個別会議開催回数)
 - 1ケース4回
 - ◇支援プラン策定件数及び再プラン策定回数
 - ・支援プラン策定…1件
 - ・再プラン…3回
 - ・モニタリング…再プラン…3回
 - ・このころのたより発送
 - ・対象世帯) 1,917世帯
 - ・フェイスブックを活用した情報の発信 掲載回数…159回
 - ◇制度の狭間にある生活課題の対応
 - ◇社会とのつながり応援事業「こねくと」
 - 延べ49回開催
 - 参加者…延べ346名
 - サポーター…延べ139名
 - ◇はたらくきっかけ応援事業「こねくとステップ」
 - 開催実績…16回

基本方針3 福祉サービスが利用しやすい環境づくり

- ◇権利擁護の取組みの充実
 - ①日常生活自立支援事業
 - ・利用件数 92件(新規 16件)
 - ・相談支援延件数 2,675件
 - ◇生活支援員研修会 参加者…14名
 - ◇法人後見事業
 - ・法人後見運営委員会 2回
 - ・受任件数 7件
 - ◇大田市成年後見支援センター事業
 - ・運営委員会の開催 2回
 - ・市民後見人登録審査委員会 1回
 - 延べバンク登録者58名
 - ・市民後見人の推薦
 - 推薦 6名(選任6名)
 - ・成年後見制度・私のおんしんノート出前講座の開催
 - 開催回数 3回
 - 参加者数 60名
 - 相談件数及び専門職候補紹介数
 - 相談件数 15件
 - 専門職候補紹介件数 7件
 - 出雲成年後見センター定例会(12回)
 - 関係機関との連携
- ◇登録者数…11名
- ・サポート企業…2事業所が登録
- ◇衣類ドライブ 3回
- 協力者数 延べ114名
- 来場者 延べ408名
- ◇生活物品利活用事業「こねくとドライブ」
 - 相談受付 1件
 - ◇同行支援事業
 - ・支援対象者(同意者) 25名
 - ◇大田市地域福祉推進支援機関実務者会議への参画

◇大田市障がい者自立支援協議会権利擁護部会への参画

◇(2)成年後見制度の利用促進

◇権利擁護支援の地域連携ネットワーク体制の整備

◇中核機関への参画

◇松江家庭裁判所との情報交換会

◇(3)相談しやすい窓口の充実と効果的な情報発信

◇社協だよりの発行(6回)

◇ホームページやSNSを活用した活動紹介・情報提供

◇オールしまね社協ブランドディング推進会議への参画

◇ケーブルテレビを活用した事業広報

基本方針4

生活課題の解決に向けた取組みの推進

◇(1)子育て・子育て支援の充実

◇子育て支援団体連絡会への支援

◇子育て支援団体連絡会 2回

◇子育てサロン交流会

◇参加者 市内在住の子育て世帯14組30名

◇子育てサロン活動状況の把握

◇訪問回数・10回(8サロン)

◇子育てサロンへの情報の提供等の活動支援

◇情報発信ツール「公式LINEアカウント」の運用開始

◇新規登録者数・40名(令和4年度末時点)

◇大田市保健対策推進協議会母子保健専門部会への参画

◇大田市子ども・子育て支援推進会議への参画

◇(2)障がいのある人が地域で安心して暮らせる社会の実現

◇障がい者社会参加促進事業

◇障がい者スポーツ振興事業

◇参加者・111名

・ふれあいスポーツフェスティバル参加者・44名

・福祉講演会

・参加者・25名

・重度身体障がい者移動支援事業

・年間延べ利用者数 89名

・年間稼働日数 83日

・ボランティア延べ活動者数 170名

◇点字・声の広報の発行

①音訳広報の発行

・広報おおだ 年12回

・市議会だより 年4回

・社協だより 年6回

・身障の友大田 年2回

・暮らしの情報、健康診断や不燃物

収集等の年間予定表 年1回

◇全日本ろうあ連盟創立70周年記念

製作映画「咲む」上映会

・実行委員会 4回

・映画上映会

・来場者・延べ361名

◇福祉機器の貸し出し

・車いすの貸出し・貸出件数29件

◇障害者就業・生活支援センター事業

◇大田市障がい者自立支援協議会への参画

◇大田・邑智地域生活支援会議への参画

◇(3)健康づくりと介護予防の推進、認知症対策

◇健康・生きがいづくりフェスティバル開催支援

・実施団体・4団体(大会参加者・200名)

◇大田圏域健康長寿しまね推進会議への参画

◇大田市生涯現役・いぶし銀が支えるまちづくり推進協議会への参画

◇(4)生活困窮世帯への自立に向けた生活支援の充実

◇自立相談支援事業

①新規相談者数 62名

②新規相談内容(困りごと) 172件

③緊急一時的支援の実施状況 248件

④自立支援計画(プラン)策定及び評価状況

支援調整会議毎月1回

・支援決定、確認件数 35件

・就労支援対象者数 8名

・プランの評価実施件数 41件

⑤支援状況

相談支援の延べ件数 2,309件

⑥研修及び会議

・職員の資質向上のため外部研修に参加

・関係機関との連携に関わる会議に参加

◇家計改善支援事業

・支援プラン策定件数 15件

・支援プラン評価実施件数 13件

◇就労準備支援事業

・利用人数 2名

◇職場体験、職場見学協力事業所の開拓 協力事業所・3社

◇地域における生活困窮者等のための共助の基盤づくり事業

・水上地区(通院、買い物支援)

・志学地区(通院、買い物支援)

・久手地区(地域食堂の実施)

◇アウトリーチ等の充実による自立相談支援機能強化事業

①ひきこもり相談の状況

電話延べ件数 6件

来所・訪問延べ件数 77件

◇資金貸付事業

①生活福祉資金貸付

・貸付相談支援延べ件数 419件

・貸付決定数 32件

・貸付金額 18,341,000円

②新型コロナウイルス特例貸付

償還免除 94件

償還猶予 1件

③民生融資金貸付(生活資金・緊急現金)

・貸付実績 17件 210,000円

◇フードバンク事業(寄付食料品備蓄による困窮者への食料支援)

・食料寄付件数 128件

・食料支援件数 252件

◇物品貸出事業

・貸出利用者数 10名

◇学生服等再活用事業

・寄付者数 11名から28品

・提供世帯数 6世帯

◇住居確保要配慮者の住居支援

・住居支援 2名

・担保不動産競売事件への対応 1件

・住宅ローン軽減等の対応 2件

・住居確保給付金の申請手続支援申請件数 6件

◇大田市営住宅入居における緊急連絡人届出支援

・支援件数・1件

◇大田市要保護児童対策地域協議会への参画

◇大田地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会への参画

◇(5)再犯防止施策の推進

◇関係機関と連携した更生支援

・更生支援対象者数 2名

◇(6)社会的取組みによる自死対策の推進

◇大田市保健対策推進協議会自死対策専門部会への参画

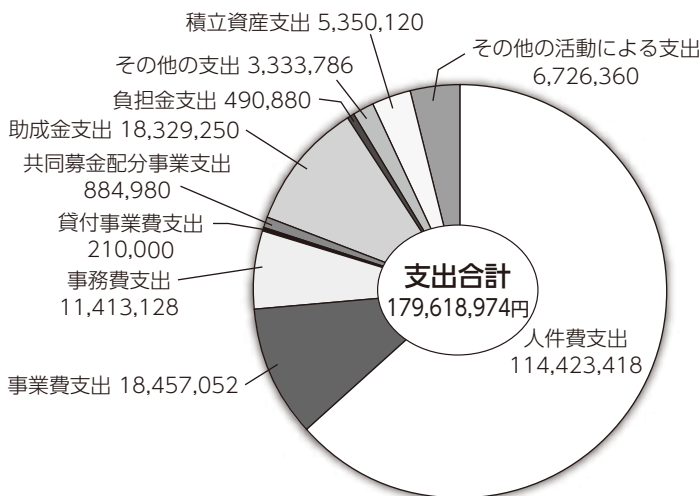
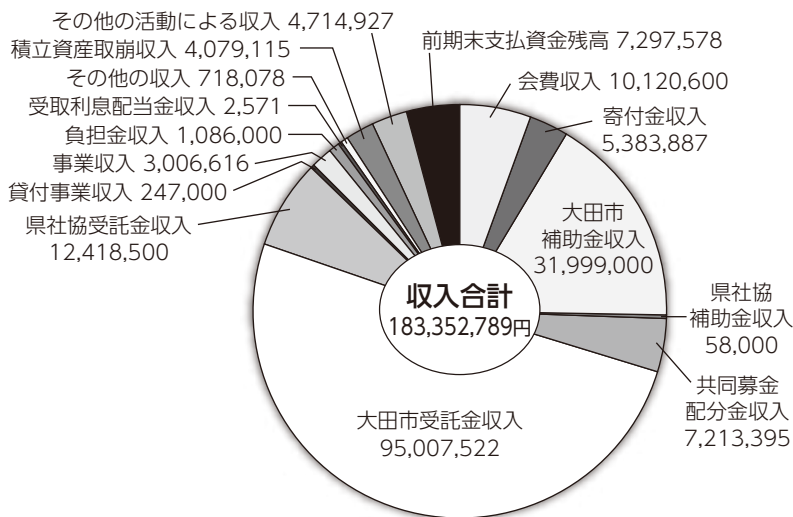
基本方針5

安心して暮らし続けることができるまちづくり

- ◇(1)住宅・生活環境の整備
 ◇新型コロナウイルス感染症等生活サポート事業の実施
 利用者 8名
 実施回数延べ11回（買い物代行）
 ◇島根県西部地震復興支援活動推進事業
 ・交付件数 1件
- ◇(2)移動手段の確保
 ◇大田市公共交通対策協議会への参画
- ◇(3)防災・防犯体制の充実
 ◇災害ボランティア活動の推進
 ◇防災・減災推進事業
 ・島根県西部地震から4年フォローアップ 参加者・18名
- ◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員の登録及び派遣
 ・福祉専門職登録者数・5名（社会福祉士）
- ◇大田市ボランティアセンターにおいての被災者支援活動
 相談件数 16件
 活動件数 16件（活動日数・19日）
 延べ活動者 56名
- ◇被災地支援活動の推進（ひよりの会）
 輪島市災害ボランティアの会（石川県）、八代市社会福祉協議会（熊本県）との交流会 参加者 9名
- ◇災害訓練等への協力
 大田市総合防災訓練に参加
 ◇災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備

資金収支決算

期間:令和4年4月1日から
 令和5年3月31日まで
 (単位:円)



当期末支払資金残高 3,733,815円

財産目録

令和5年3月31日(単位:円)

資産・負債の内訳	金額
○資産の部	
流動資産	12,509,204
現金	12,150
普通預金	11,591,248
事業未収金	849,890
未収補助金	0
前払費用	55,916
固定資産	187,714,815
基本財産	3,000,000
定期預金	3,000,000
その他の固定資産	184,714,815
建物	0
車輛運搬具	3
器具及び備品	760,630
ソフトウェア	0
民生融金貸付金	1,160,000
退職手当積立基金預け金	75,920,852
地域福祉推進活動積立金	103,839,120
財政調整積立金	0
災害復興支援積立金	3,000,000
その他の固定資産	34,210
資産の部合計	200,224,019

資産・負債の内訳	金額
○負債の部	
流動負債	8,775,389
事業未払金	4,491,901
未払費用	3,733,031
預り金	550,457
固定負債	75,920,852
退職給付引当金	75,920,852
負債の部合計	84,696,241
差引純資産	115,527,778

ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます
(令和5年6月～令和5年7月受付分順不同敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

香典返し寄付

大田	松本	祐甫	和田	長子
俵	義輝	岩永	知子	
山内	繁	坂田	勇治	
土本	智志	竹内	謙	
丸山	徹			
川上	奈津枝			
波根	三谷由紀美	安原	豊子	
久手	渡邊厚子			
鳥井	中祖隆	高橋	敦美	
長久	大床美佐子	亀岡	隆行	
静間	木村晃	山内	政実	
大屋	西村聡子			
久利	山坂信吾			
大森	植田忍			
水上	福井郁夫			
祖式	松本美恵子			
仁摩	高橋祐子	野木	信隆	

出雲市 河上 浩一

狹霧 中祖 考司

大阪府 夕永 博之

広島県 松岡 龍夫

以上、452,050円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブも多数いただきました。

食品・学生服等の寄贈

大田 ザガチ・ギレルメ
川合 生越 雅子
池田 原田 修
温泉津 瑞泉寺仏教婦人会
恵瑠寺

仁摩 大田中組寺族婦人会
石見銀山農政会議
生長の家白鳩会大田地区連
浄土真宗本願寺派
山陰教区教務所同朋社会部会

他多数の方々にご協力いただきました。

救援金へのご協力ありがとうございました

令和5年6月受付分(敬称略)

2023年トルコ・シリア地震救援金

・大田市役所設置義援金箱

本会にお寄せいただいた救援金は、日本赤十字社を通じ、国際赤十字・赤新月社連盟、赤十字国際委員会、および各国赤十字・赤新月社が実施する救援活動を支援するために役立てられます。

～大田市民生児童委員協議会より～ 令和5年度 児童福祉部会研修会を開催しました

7月25日、「令和5年度児童福祉部会研修会」を開催しました。
発達障がいへの理解と、発達障がいの子どもさんや、
そのご家族に対して日頃から地域でできる支援について、
また災害時に避難時や避難先で配慮することなどやできる
ことについて学びたいとの声があがりました。
そこで、島根県西部発達障害者支援センターウィンド
より発達支援員の奥井美穂様にお越しいただき、
「発達障がいの子どもを支えている家庭を地域の中で
見守るために」～発達障がいの特性と理解について～
と題してお話をしていただきました。



代表的な発達障がいについての基本的な理解やそれ
ぞれの障がいの特性について、具体例などを交えなが
ら伝えていただきました。

支援の方法、関わり方についても説明があり、情報の
『見える化』や、「普通に」、「ちゃんと」など抽象
的な表現は迷いや不安の原因となるので避ける、との
お話がありました。

災害時には環境の変化や困ったことを伝えることが
苦手であったり、痛みに気づきにくい、感覚の過敏さ
などがあること、避難所になじむことが出来ないなど
の説明があり、具体的な注意点についてのお話があり
学びの多い時間となりました。



後半のグループ協議でも活発な意見交換が行われ、
発達障がいに限らず、まだ地域の中で障がいへの理解
が十分ではない、など8つのグループそれぞれから
多くの意見が出ました。

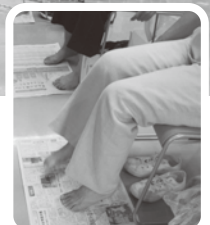
地域で暮らす住民を支える、民生児童委員や主任
児童委員を含む支援者が、今回のような学びの場
で障がいへの理解を深めていくこと、そして学んだこ
とを支援者同士で共有し、地域へ伝えていくことが
大切であると感じました。



介護予防活動実施団体交流会を開催しました

8月2日、大田市民センターにて、介護
予防活動実施団体交流会を開催し、当日
は63名の方に参加をいただきました。

今回は「元気な足作り」と題して、フット
ケア^{フットケア}amenimo代表の渡邊里佐先生に
お越しいただき、足の健康が身体にもた
らす効果についての講話やビー玉を使っ
た足指ゲームなど、とても楽しくお話し
をいただきました。さらに、情報交換では「他の団体にお勧めしたいことや聞いて
みたいこと」などについて話し合われ、サロン活動をより良いものにするために
闊達な情報交換ができました。



シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集

仁摩ブロック健康スポーツ大会

7月12日仁摩まちづくりセンター2階において、開催いたしました。参加者44名で、5種目競技しました。4年ぶりの大会で、コロナ禍家に籠った生活に慣れ、元気が無くなっていたので、1人でも多くの会員に参加して頂こうと、軽スポーツ大会にしました。皆さん元気いっぱい楽しく運動し、今回のスポーツ大会が、よかったとお声を、頂きました。

また来年は、今年以上のスポーツ大会にいたしましょう。

みんなでうたってるヨ!

絵がピッタリ合ったね!



パン食い

お土産もらってうれしいね!

輪投げ



温泉津ブロック健康スポーツ大会

7月7日温泉津まちづくりセンター大ホールにおいて開催しました。今年は、コロナも少し落ち着いてきましたので、再開することにしました。

参加者50名の5種目で地区ごとの競技ではなく、純粋にゲームを楽しんで頂き、景品を持って帰ってもらう趣旨としました。じゃんけんゲーム、玉入れ、魚釣り、パン食い、宝探し、皆さん久しぶりに、楽しんでおられました。

来年もこの笑顔で、頑張ってお会いしましょう。

パンがとれないなあ!

じゃんけんぽん!

もう少しで釣れそう!



それ〜!まとめて投げちゃえ!!



第18回グラウンドゴルフ大会 -県大会予選会-

グラウンドゴルフ大会開催予定でしたが当初は7月10日(月)、雨天の為順延となり13日(木)の開催、雨天中止となりました。抽選で5チームが決まりました。参加チームの皆様やご後援頂いた島根中央信用金庫大田営業部の皆様には、急な順延、中止にも関わらずご対応頂き誠に有難うございました。

告知

【県老連主催】令和5年度 まめなかいしまね
グラウンドゴルフ大会 (9月19日 出雲ドームにて開催)

出場
チーム

- 大屋寿会 (大屋町) ○朝寿会 (朝山町) ○長命会 (仁摩町)
- 大田GGエンジョイクラブ (大田町) ○久利寿会 (久利町)



島原麺(そうめん) ご協力のお礼

今年度も、島原麺ご購入のご協力ありがとうございました。

還元金につきましては、シニア連の自主財源の一部に、充当させていただきます。



ずっとつながる

(事務局)


大田市シニアクラブ連合会



〒694-0064 大田市大田町大田1128番地
TEL 0854-84-0266
FAX 0854-82-9960
月曜日・木曜日 8:30~17:00(祝日休)


ホットつたある

地域ふれあい食堂 「こねくと」食堂



「こねくと食堂」は、子どもから大人までだれでも参加できる食堂です。
 みんなでおいしいごはんを食べて過ごせる交流の場づくりをめざして毎月1回の開催を予定しています♪どなたでも参加いただけますので、ぜひお越しください(^^)

毎月のメニューや募集開始は、大田市社協公式FacebookやLINE、大田市民センター1階掲示板で案内しておりますので、ご確認ください。



地域ふれあい食堂 こねくと食堂

令和5年度下半期開催予定 大田市社会福祉協議会

10(金)
27

11(金)
24

12(金)
15

「こねくと食堂」は、子どもから大人までだれでも参加できる地域食堂です♪みんなで、おいしいごはんを食べて過ごせる交流の場づくりをめざしています♪

1(金)
26

2(土)
24

3(金)
15

※11:30~14:00※
(受付は13:30まで)

時 間/午後5:00~午後8:00 (受付は午後7:30まで) ☆参加にあたっては事前申込みをお願いします！

場 所/大田市民センター4階 (大田市大田町大田イ125) ※大田市民会館となり

参加費/おとな:100円
こども:無料
※50食申込み先着順

☆各月の第2曜日に、その月のメニューのお知らせと申込み受付を開始します！おたのしみにも「こねくと食堂」に関する情報も！(連絡先は後述のQRコード参照)




心のたより 発行事業




この事業は、大田市民生児童委員協議会との共催で、大田市内にお住まいの75歳以上のひとり暮らしの高齢者の方、ご夫婦とも80歳以上の高齢者夫婦世帯等に、暑中見舞いはがきをお届けすることで、声掛け・見守り等の安否確認を行うことを目的に実施しています。

宛名書きは、担当地域の民生児童委員のみならずさまにご協力いただきました。また、体調を気遣うひと言メッセージを書いてくださるなど、心温まる「こころのたより」となっています。

はがきを受け取られた方からは、お礼の電話や手紙をいただいております。

ご家庭に眠っている食品大募集！

フードバンク事業へのお願い

ご家庭で眠っている食品を募集しています。
 ご寄贈いただいた食品は、生活に困窮している方、福祉施設や団体に無償で提供します。

募集している食品は、常温保存可能で賞味期限が1ヶ月以上ある食品（お米、乾麺、乾物、缶詰、インスタント食品等）です。

【受付窓口】 大田市社会福祉協議会 本所・各支所

